

小田原市（市民・行政）提案型協働事業実績一覧

○提案型協働事業は令和6年度に小田原市市民活動・協働応援制度へリニューアルした際に「市民×行政協働コース」として補助金コースと一体で募集を開始。令和7年度実施分は応募なしのため、以下、旧制度である市民提案型協働事業、行政提案型協働事業の実績を記載。

1 市民提案型協働事業

No	年度	事業名	概要	団体名 (担当課)	提案型協働事業 終了後の状況
1	H26 ～ H27	外国出身者への 日本語指導を中 心とする生活支 援事業	外国出身者への日本語指導、児童・生徒への教育支援、生活相談・情報提供窓口の設置、日本語指導法講習会などを実施する。	日本語教室い ろはの会 (人権・男女共 同参画課)	団体の活動と して継続(市は 必要に応じ協 力)
2	H26 ～ H28	駅からガイド事 業	小田原駅から小田原城に至る市街地の名所・旧跡の観光案内や、ガイド養成のための研修会を実施する。	NPO法人 小田原ガイド 協会 (観光課)	市が補助金を 交付して継続
3	H26 ～ H28	市民と共に創る 障がい者地域交 流活動プラザ事 業	交流プラザの運営、講座・パソコン教室などを通じた障がい者との交流事業、啓発フォーラム、訪問支援などを実施する。	NPO法人 サポートK A Z E (障がい福祉 課)	団体の活動と して継続(市は 必要に応じ協 力)
4	H26 ～ H28	プレイパーク事 業	プレイパークの開催とプレイパークや遊びなどの理解を深めるための学習会のほか、プレイリーダーの養成を実施する。	p p @ s e i s h o (青少年課)	団体の活動と して継続(市は 必要に応じ協 力)
5	H26 ～ H28	小田原グリーン プロジェクト事 業	校庭・園庭の芝生化・管理、芝生化の効果の調査研究、日本芝草学会現地視察の誘致を実施する。	NPO法人 下府中コミュ ニティ S h i n 2 (教育総務課)	市が委託して 継続

No	年度	事業名	概要	団体名 (担当課)	提案型協働事業 終了後の状況
6	H26 ～ H28	安全安心コミュニティ事業	安全安心コミュニティマニュアルの作成、青パトによるパトロールと導入講習会、地域安心安全コミュニティ講習会を実施する。	NPO法人 日本犯罪防止 事業団 (地域安全課)	H29 は市が委託して実施 H30 以降は団体の活動として継続(市は必要に応じ協力)
7	H29 H30 R 1	小田原市所蔵美術品の保存管理と活用	市公共施設に展示されている美術品の撮影、状況調査を実施する。 (※H30 に事業名変更)	おだわらミュージアムプロジェクト (文化政策課)	市が台帳活用事業を団体の協力により継続(R 2 で終了)
8	R 1	「メダカ」で気づく(築く)「小田原の豊かな暮らしデザイン」プロジェクト	小田原の自然の豊かさを発信するために、WEBの開設や地域紙の発行、高齢者施設へのアクアリウム寄贈を実施する。	めだかサポーターの会 (環境保護課)	団体がホームページの運営を継続
9	R 1 R 2	高齢期の知っとくいきいき講座(介護予防普及啓発事業)	高齢者が安心して暮らし続けるための整理収納講座を開催する。	すっきり暮らす研究会 (健康づくり課)	市が団体に講師依頼(R 4 で終了)
10	R 2	mama job サミット	仕事と育児の両立を困難に感じる女性に対し、子どもの成長に合わせ、女性の就労・起業を目的とした「mama job サミット」等のイベントを開催する。	NPO法人 mama's hug (子育て政策課)	団体の活動として継続(市は必要に応じ協力)
11	R 2 R 3 R 4	「小田原くくり罾塾2022」事業～小田原・箱根山地の農林業・生態系を守る捕獲体制づくり～	シカによる植生劣化や農林業被害の抑制及び有害鳥獣捕獲者の育成を目的として、くくり罾猟の現場実習等を実施する。 (※各年度で事業名変更)	NPO法人おだわらいノシカネット (農政課)	団体の活動として継続(市は必要に応じ協力)

2 行政提案型協働事業

No	年度	事業名	概要	団体名 (担当課)	提案型協働事業 終了後の状況
1	H23	災害救援ボランティア支援事業	災害ボランティアセンターの設置・運営に関するマニュアルを作成し、研修を実施する。	西湘災害ボランティアネットワーク (防災対策課)	災害ボランティアセンターの運営に団体が協力
2	H23	子育てマップ（ぴんたっこ）発行事業	子育てマップ「ぴんたっこ」を、市民活動団体と協働で発行することにより、子育て家庭が必要とする情報をより適切に届けられるようにする。	NPO法人 mama's hug (子育て政策課)	団体（ぴんたっこ運営協議会）によるサイト運営に市が協力
3	H23 H24	リサイクル・リユースフェア開催事業	年に2～3回環境事業センターで開催している「リサイクル・リユースフェア」において、ごみの減量やリサイクルの意識啓発につながるような企画を考案し、実施する。	まちをきれいにする会 (環境政策課)	終了
4	H24 H25	落書き消去活動支援事業	落書きは見るものに不快感を与えるだけでなく、犯罪の温床になるとも言われている。そのような落書きを消去し、きれいに安全なまち小田原を目指す。	まちをきれいにする会 (環境保護課)	団体の活動として継続（市は必要に応じ協力）
5	H28	耐震化推奨訪問事業	建築士の有資格者が、旧耐震基準家屋の所有者等に対して戸別訪問を実施し簡易耐震診断を行い、耐震改修工事の重要性や助成制度について説明する。	いえ守りの会 (建築指導課)	市が団体会員に報償費を支出して継続

No	年度	事業名	概要	団体名 (担当課)	提案型協働事業 終了後の状況
6	H28 H29	野良猫対策事業	地域住民の理解・合意を得たうえで、野良猫に対し去勢・不妊手術を行った後、里親を探し適切な飼養を促進し、野良猫の数を減少させていく。	おだわらねこ (環境保護課)	団体の活動として継続(市は必要に応じ協力)
7	H29	プロダクティブ・エイジング推進事業(シニアバンク・セカンドライフ応援セミナー)	「元気・活力のあるシニア世代」と「活躍の場・いきがいくりの場」を恒常的にマッチングする登録制度『シニアバンク』を運営するとともに、就労やボランティア等の特定の活動をターゲットとしたつなぎの場『セカンドライフ応援セミナー』を開催する。	シニアネット ワークおだわら&あしがら (企画政策課)	H30 は市が負担金を支出して実施 R 1 以降は生涯現役推進協議会(団体も構成員)の主幹事業に変更して継続

※平成 26、27 年度は行政提案型協働事業を休止し、市民活動推進委員会で制度の見直しを検討した。

これを受け、平成 28 年度実施事業から実施前年度に審査を終了するようスケジュールを変更した。

※平成 30 年度、令和 2 年度実施事業については、庁内から事業テーマが示されなかった。

※令和元年度実施事業については、庁内から事業テーマが示されたが、市民活動団体から応募がなかった。(乳幼児がいる家庭のための防災対策の研究とリーフレット作成/防災対策課)

※令和 3 年度実施事業については、庁内から事業テーマが示され、市民活動団体から 1 件の応募があったが、審査の結果、不採択となった。(「市民活動団体と行政の協働」に関する研修会の開催/地域政策課)

※令和 6 年度からは、小田原市市民活動・協働応援制度に一本化し、市民×行政協働コースとしてリニューアル。しかしながら、リニューアル後最初の募集となった令和 7 年度実施分は応募なし。令和 8 年度実施分には 1 件の応募あり。今後審査を実施予定。